

川崎市消防局の救急車で搬送された患者さん・御家族の皆さんへ
「デジタルトランスフォーメーションによる病院前診療における重症化リスクの
可視化と情報伝達の効率化についての検討」について

(1) 研究の目的

日本全国における救急搬送数は増加の一途ですが、高齢化社会において、一人の患者さんに複数の病態が混在しています。一方で、受け入れる側の病院においては、医師の専門分野の細分化により、各病院で対応可能な病態が限定され、救急搬送時の病院選定は煩雑となっています。また、現場の救急隊と病院内の医師間で行われる電話越しの病院選定は、情報伝達には時間がかかり、かつ正確性に欠けることもあります。

当院では、救急隊と病院間の情報連携システムである Next Stage ER mobile (NSER、TXP Medical、日本)を導入し、救急車内での活動記録と患者情報をセキュアな環境下で共有しています。

また近年、複数のバイタルサインを組み合わせ、重症化リスクを評価する重症化予測スコアの有用性が報告されております。

本研究では、情報通信技術と重症化予測スコア(NEWS、VSI)とを用いて、重症化リスクの可視化と患者情報の効率的共有による、病院選定に要する時間短縮の効果について検証いたします。

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会(臨床試験部会)にて審議され学長の許可を得て実施しております。

(2) 研究の方法

研究実施期間: 実施許可日~2027年3月31日

対象は、2021年8月1日から2024年9月30日までに、川崎市消防局に所属する救急隊によって聖マリアンナ医科大学病院救命救急センターに搬送された患者さんです。

研究で使用する下記のデータは、通常の診療によって得られた診療録のデータです。
本研究は観察研究であり、患者さんにいかなる利益・不利益も生じることはありません。

聖マリアンナ医科大学病院の電子カルテから必要な情報を抽出し、個人情報削除してから解析を実施するため、患者さんに対して危険性はありません。

観察項目:

年齢、性別、バイタルサイン、診察所見、既往歴、生活背景、NEWSスコア、VSI、Acute physiology and chronic health evaluation (APACHE) II、Sequential Organ Failure Assessment (SOFA)、診断名、救急外来の退出時における入院の有無と入院先病棟、24時間、30日、90日での死亡の有無、時間経過

(3) 個人情報の保護について

この研究では登録の時に、新たに研究用の個別の番号を付し、個人が特定できないようにして取扱います。個人情報と識別コードの照合表を作成し、救命救急センターの救急医学の鍵のついたキャビネット内にて厳重に保管します。

本研究で得られたデータについては現時点では確定していませんが、国内データを二次利用多目的利用する可能性があります。その際は新たな研究計画を作成したうえで生命倫理委員会(臨床試験部会)にて審議され学長の承認を得るなどの必要な手続きを行います。また、本学の HP 等でその旨を公開し、研究対象者が拒否できる機会を保障します。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この研究の対象となられる方で、ご自分あるいはご家族の情報を登録したくない場合は 2026 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。 研究への参加を希望されない患者さんの情報は研究データとして使用することはありません。なお、申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先 聖マリアンナ医科大学病院 救急医学
住 所：〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1
電 話：044-977-8111 (代)
研究責任者： 森澤 健一郎 PHS 81544 (9:00-17:00)

【共同研究機関】

日本光電工業株式会社
事業戦略統括部 ITS/DHS 企画部 研究責任者 安丸 信行

この研究で使用する OBS 社製 VSI スコア演算システムは、研究実施期間中、日本光電から提供されます。収集したデータの解析は本学のみで行い、日本光電とデータの共有はいたしません。